

平成31年度

重要事項要望書



笑顔みちる水都 とくしま

徳島市

日ごろは、徳島市政の推進につきまして、格別のご配慮を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、徳島市を取り巻く社会情勢は、少子高齢化の進行や都市部への人口流出による地域の活力低下、南海トラフ地震をはじめとする自然災害リスクの高まり、さらには、高速道路の延伸による市内中心部と関西圏の直結など、大きく変化してきております。

こうした中、徳島市では、平成29年3月に策定した10年間の新たなまちづくりの指針となる「徳島市まちづくり総合ビジョン」に基づき、様々な施策を展開し、「市民満足度の高いまちづくり」に全力で取り組んでおります。

加えて、本年度、新たに「徳島市行財政改革推進プラン2018」をスタートさせ、徹底した内部努力や事務事業の見直しによる経費の節減のほか、歳入の確保につながる取り組みなど、総合ビジョンに掲げる将来像「笑顔みちる水都 とくしま」の実現に向け、将来を見据えた健全な行財政基盤づくりに努力しているところでございます。

しかしながら、徳島市ならではの強みを生かした独自のまちづくりを機動的かつ戦略的に推進し、県や周辺自治体との連携強化を十分に図りながら、「県都とくしま」を再生させるためには、徳島市自らの努力はもちろんですが、国のご支援やご協力が必要不可欠でございます。

つきましては、平成31年度政府予算の編成に際し、徳島市にとって必要かつ緊要な別添の要望事項について、是非ともご理解と特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年7月

徳島市長 遠藤 彰 良

平成31年度 重要要望事項 目次

主管省庁局	要 望 事 項	頁
総務省 自治行政局 自治財政局 文部科学省 初等中等教育局	グローバル化に対応した外国語教育施策の推進について	1
総務省 自治財政局 文部科学省 大臣官房文教施設企画部	学習環境向上のための財政措置の充実について	3
国土交通省 都市局 道路局	徳島市内の連続立体交差事業の推進について	5
国土交通省 水管理・国土保全局	吉野川の直轄管理区間における洪水・地震津波対策の促進について	7
国土交通省 道路局	高規格道路網等の整備促進について	11
国土交通省 港湾局	徳島小松島港沖洲(外)地区複合一貫輸送ターミナル整備事業の促進について	15

グローバル化に対応した 外国語教育施策の推進について

< 主管省庁局 総務省 自治行政局、自治財政局・文部科学省 初等中等教育局 >

【要望の趣旨】

児童生徒のコミュニケーション能力向上のため、JET-ALT 及び JET プログラムコーディネーター配置に係る地方財政措置の継続的な実施とさらなる充実、小学校英語専科教員やコーディネーターの加配措置充実を要望するもの。

◆ 現況・課題等

現 況

【次期学習指導要領の施行 (H32~)】

- 外国語教育の充実
 - ・授業時数の拡大、指導体制の強化

【徳島市の状況】

- グローバル化に向けて先行実施
- ALT の増員
 - ・ H29 年度: 4 人 (計 14 人)
 - ・ H30 年度: 4 人 (計 18 人)
- ◇ALT が活用されている授業時数割合
 - ・ 小学校 **47%** (61.7%)
 - ・ 中学校 **20%** (22.1%)
 - ※H30 年度見込。() は H27 年度全国平均
 - < 目標値 (H38 年度) >
 - ・ 小学校 **70%**
 - ・ 中学校 **50%**
- 英語教育研修の充実

課 題

●ALT のさらなる配置増員が不可欠

●ALT を支援する人材が必要

●各小学校への英語専科教員やコーディネーターの配置が必要

グローバル化に対応したコミュニケーション能力の向上を図るためには、「JET-ALT や JET プログラムコーディネーターの配置増員」、「小学校における英語専科教員やコーディネーターの加配措置充実」が必要である

◆ 具体的要望内容

グローバル化に対応した外国語教育施策の推進について、特段のご配慮をお願いいたします。

- ① JET-ALT 及び JET プログラムコーディネーター配置に係る地方財政措置の継続的な実施とさらなる充実
- ② 小学校における英語専科教員やコーディネーターの加配措置のさらなる充実



ALT の活動

徳島市担当部課名 教育委員会 教育研究所

1 徳島市における ALT 配置状況及び計画

	ALT 増員数	ALT 人数	ALT の授業活用率		備 考
			小学校	中学校	
平成 28 年度	0	10 人	47.8%	16.5%	
平成 29 年度	+4 人	14 人	54.0%	24.0%	
平成 30 年度	+4 人	18 人	47.0%	20.0%	・ 小学校で、一部先行実施。 ・ 外国語活動の授業時数が 3 倍に増加。
平成 31 年度	+3 人	21 人	53.0%	25.0%	
平成 32 年度	+2 人	23 人	66.0%	25.0%	

平成 38 年度の目標値	<u>70%</u>	<u>50%</u>	
--------------	------------	------------	--

※平成 30 年度以降の数値は、予定及び見込数。

2 ALT 増員に伴いかかる費用（概算）・・・1 人当たり

非常勤職員報酬	320,100 円 × 12 ヶ月	3,841,200 円
家賃	50,000 円 × 12 ヶ月	600,000 円
バス代（通勤費）	3,000 円 × 12 ヶ月	36,000 円
赴任費	90,000 円	90,000 円
寝具等	17,000 円	17,000 円
図書費	10,000 円	10,000 円
自転車	30,000 円	30,000 円
ヘルメット	6,000 円	6,000 円
自治体国際協会特別会員費	72,000 円	72,000 円
渡航費負担金	155,000 円	155,000 円
JET 傷害保険負担金	30,000 円	30,000 円
オリエンテーション参加費	30,000 円	30,000 円
指導力向上研修	6,000 円	6,000 円
		計 4,923,200 円

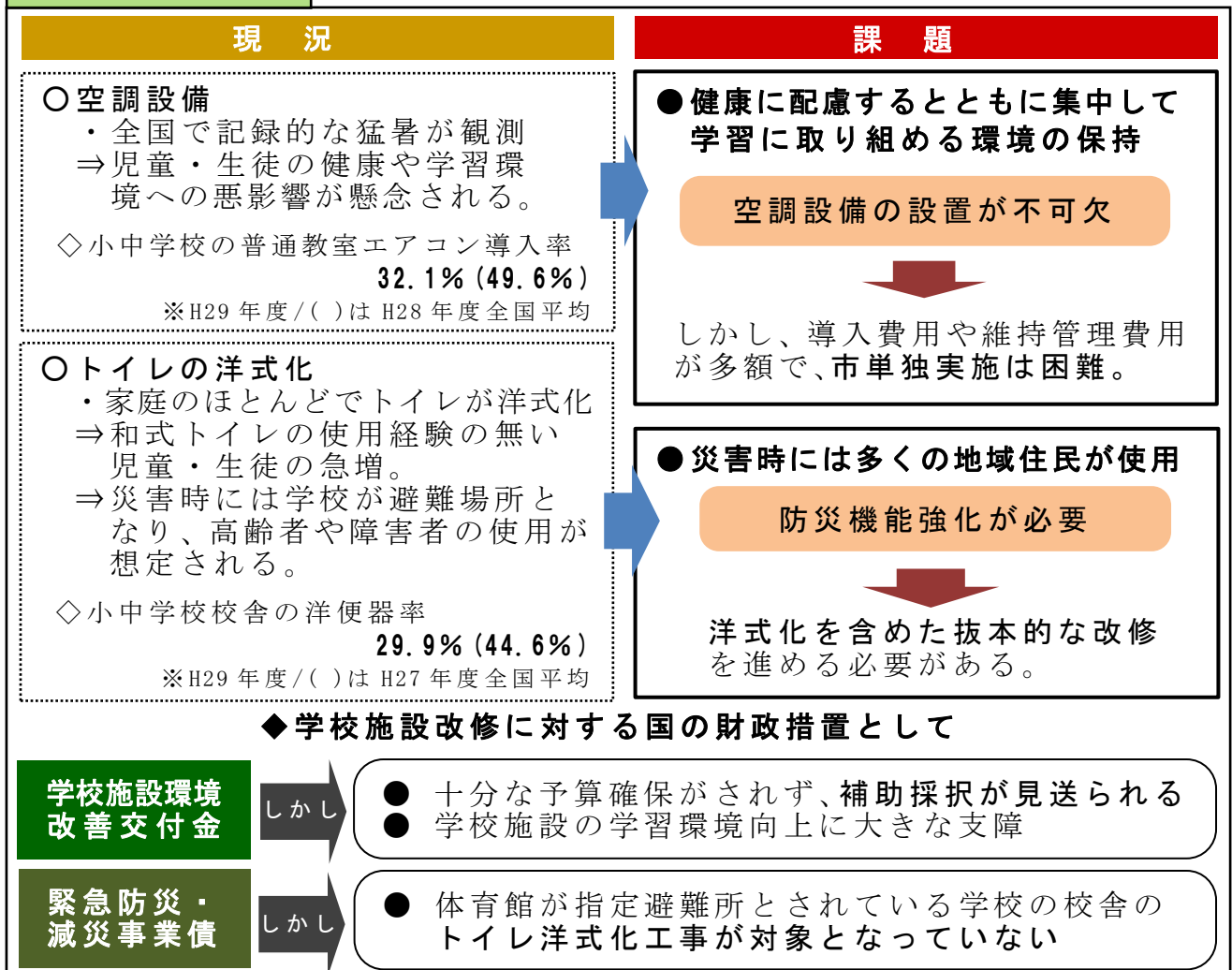
学習環境向上のための財政措置の充実について

＜主管省庁局 総務省 自治財政局・文部科学省 大臣官房文教施設企画部＞

【要望の趣旨】

学校施設における学習環境の向上を図るため、学校施設環境改善交付金に係る十分な財源の確保及び地方債の拡充について、要望するもの。

◆現況・課題等



学校施設における学習環境の向上等を図る必要がある

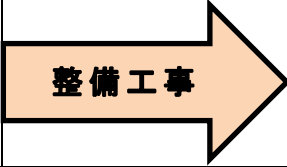
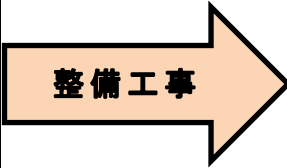
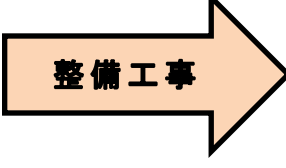
◆具体的要望内容

学習環境の向上を図るためには空調設備の設置やトイレ改修は重要不可欠であり、こうした施策を推進するため、必要な財源確保と地方債の拡充などさらなる財政支援の充実について、ご配慮をお願いいたします。



徳島市担当部課名 教育委員会 総務課

1 空調設備の整備計画

項目		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
中学校	全校 (15校)			
小学校	1期 (15校)			
	2期 (15校)			

2 小・中学校のトイレの洋式化整備状況

項目		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
小学校	便器総数	1,409	1,413	1,418
	洋式化数	357	385	435
	整備率	25.3%	27.2%	30.7%
中学校	便器総数	736	732	726
	洋式化数	137	152	206
	整備率	18.6%	20.8%	28.4%
計	便器総数	2,145	2,145	2,144
	洋式化数	494	537	641
	整備率	23.0%	25.0%	29.9%

※集計は、校舎内に設置のみを集計（屋内運動場・プール・屋外を除く）

徳島市内の連続立体交差事業の推進について

< 主管省庁局 国土交通省 都市局、道路局 >

【要望の趣旨】

市街地の一体化や交通渋滞の緩和を図るため、徳島駅西から文化の森駅付近までの連続立体交差事業の推進について、要望するもの。

◆現況・課題等

現況

- JR 高德線、徳島線及び牟岐線
 - ⇒ 本市中心部は、様々な都市機能が集積する本県の政治・経済・文化の中核であるとともに、交通の要衝となっている。
 - ⇒ JR は陸上交通の大動脈として、県勢全体の発展に大きな役割を果たしている。
- 佐古駅を中心とした 3.7 km 区間が平成 7 年に完成
 - ⇒ 新たな道路や高架側道の整備により、交通渋滞が緩和され、また高架下を駐輪場に活用するなど、利便性の高いまちが構築され、都市の活性化が進んでいる。

課題

●徳島駅西－文化の森駅付近(4.7km)

多くの踏切(13箇所)や立体交差により円滑な移動ができない

様々な都市活動の支障となり、中心市街地の活力が低下

まちの魅力を生かしきれていない

さらには

避難路の確保や救命・救急活動の迅速化等、災害に強いまちづくりが喫緊の課題

将来に向けて本市が持続的に発展していくためには、まちづくりと連続立体交差事業を一体として行う必要がある

◆具体的要望内容

徳島市では、連続立体交差事業と一体化した徳島駅周辺の整備により、中心市街地におけるにぎわいの創出やまちの魅力づくりを可能とする新たなまちづくり計画を策定しました。今後、まちづくり計画の内容の深度化を図り、その実現に向けて取り組んでいくところでございます。

つきましては、本市まちづくりへのご協力と連続立体交差事業の推進について、特段のご配慮をお願いいたします。

徳島市担当部課名 都市整備部 まちづくり推進課

徳島市内の連続立体交差事業の概要図



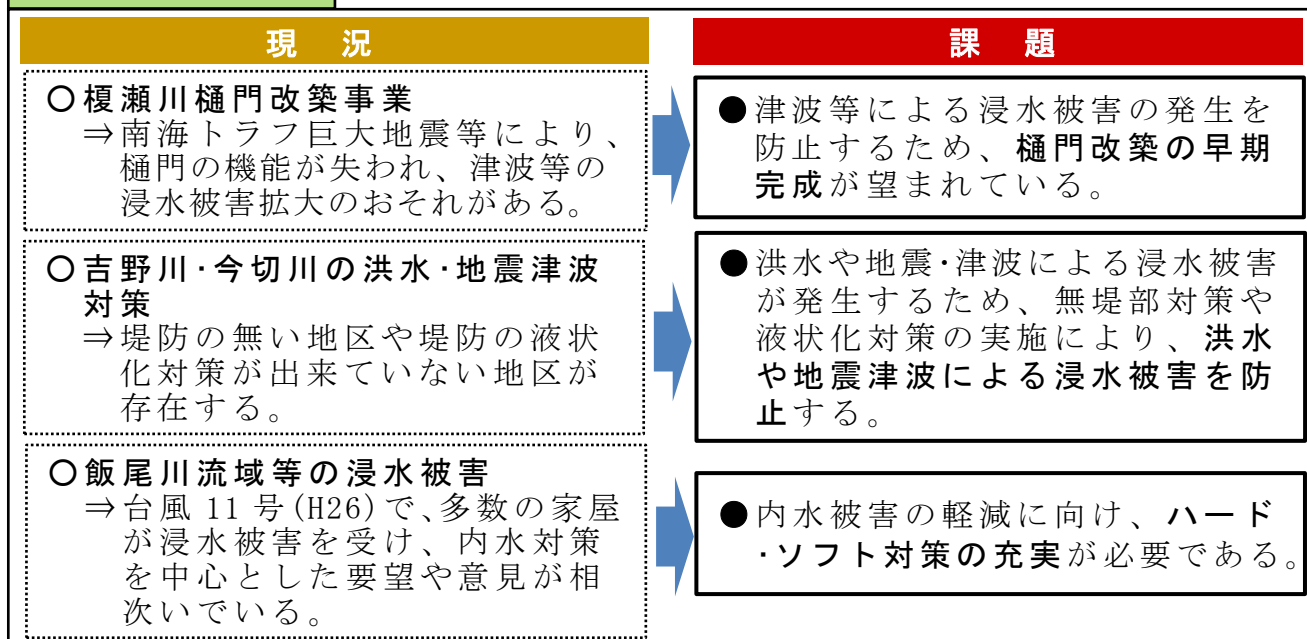
吉野川の直轄管理区間における 洪水・地震津波対策の促進について

＜ 主管省庁局 国土交通省 水管理・国土保全局 ＞

【要望の趣旨】

台風等の洪水による浸水被害や今後想定される南海トラフ巨大地震の津波被害の軽減を図るため、吉野川・今切川において必要な対策の実施に向け、治水事業費の予算枠の拡大について要望するとともに、直轄河川改修事業等の整備促進を要望するもの。

◆現況・課題等



市民の安全で安心な生活を確保するため対策が必要である

◆具体的要望内容

吉野川における直轄河川改修事業等の整備促進と新規箇所の早期事業化について、特段のご配慮をお願いいたします。

- ① 榎瀬川樋門改築事業
 - ・榎瀬川樋門改築の早期完成
- ② 吉野川・今切川の洪水・地震津波対策
 - ・今切川の無堤地区への堤防整備及び堤防耐震対策の促進
 - ・今切川右岸宮島江湖川及び榎瀬江湖川合流点への水門の新設
- ③ 内水対策
 - ・角ノ瀬排水機場の能力向上(20 m³/s→40 m³/s)
 - ・宮島江湖川及び榎瀬江湖川における排水機場の新設

また、近年、全国各地で発生している異常気象を勘案すると、今後、さらに水害が多発する恐れがあり、洪水被害を未然に防ぎ、市民の安全で安心な生活を確保するためにも、治水事業の予算枠の拡大を図っていただきますようお願いいたします。

徳島市担当部課名 土木部 下水道事務所 建設課



- : 1 地震津波対策と洪水対策が重複する区間として築堤等対策を進める箇所
- : 2 液状化対策必要区間
- : 3 対策実施済箇所





飯尾川概要図

③ 直轄(角ノ瀬排水機場)
 全体計画40m³/sのうち第1期計画20m³/s完了



きらめく水辺と賑わい空間

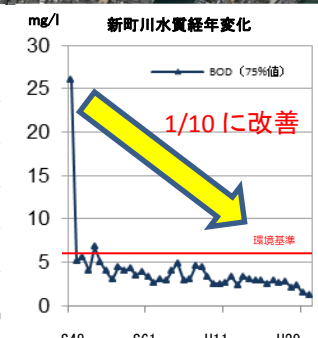
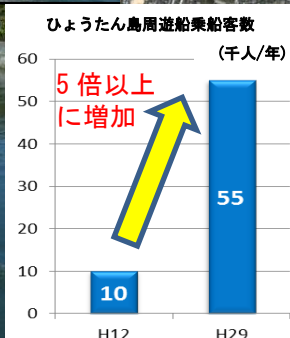


- ◆ 水とともに発展した徳島市の中心を流れる新町川。その周辺は有名な阿波おどりの舞台でもあります。
- ◆ かつては生活排水で汚れ、住民が川がらみを感じる時代もありましたが、平成7年に完成した水質浄化ポンプによる大幅な水質改善、NPO 団体やボランティアによる清掃活動、水辺空間の整備・活用など、国・県・市はもとより民間も一体となった取り組みの結果、人々が集う街を象徴するエリアとして再生しました。

「笑顔みちる 水都」をめざして



ひょうたん島周遊船コース



高規格道路網等の整備促進について

＜ 主管省庁局 国土交通省 道路局 ＞

【要望の趣旨】

地方創生、国土強靱化、生産性の向上を実現し、ストック効果を早期に発揮させるため、四国横断自動車道の早期整備及び徳島自動車道の早期4車線化並びに徳島環状道路の建設促進による高規格道路網等の整備について、要望するもの。

◆現況・課題等

現況

- 四国横断自動車道
 - ⇒徳島東IC-徳島JCT間は、H31年度供用に向け整備中。
 - ⇒津田IC-徳島東IC間は、H32年度供用に向け整備中。

- 徳島自動車道
 - ⇒暫定2車線区間が約8割。阿波PA付近7.5kmの付加車線を整備中。



- 徳島環状道路
 - ⇒南環状道路では改良工事を推進中。及び事業認定申請に向け準備中。

課題

- 四国横断自動車道
 - ⇒徳島市の産業集積地であるマリンピア沖洲産業団地や徳島県木材団地と高速道路へのアクセスが不便である。
- 徳島自動車道
 - ⇒利用者の安全性や快適性が不十分。
 - ⇒大規模災害時の対応に不安。
- 徳島環状道路
 - ⇒都市内交通や通過交通が市中心市街地に集中するため、交通渋滞が慢性化し、日常生活や地域の経済活動に深刻な影響を及ぼしている。

地方創生を力強く進めるための基盤となる
高規格道路網等の整備を促進する必要がある

◆具体的要望内容

高規格道路網等の整備促進について、特段のご配慮をお願いいたします。

- ① 四国横断自動車道
 - ・阿南IC-徳島東IC間及び徳島東IC-徳島JCT間の整備促進
 - ・津田IC-徳島東IC間への重点的な予算配分
- ② 徳島自動車道の早期4車線化
- ③ 徳島南環状道路の建設促進

また、今後の予算編成にあたっては、公共事業予算を最大限確保するようお願いいたします。加えて、「強い物流」の実現に向けて、徳島環状道路を重要物流道路に指定し、補助事業による重点整備促進についても、特段のご配慮をお願いいたします。

徳島市担当部課 都市整備部 広域道整備課

高速道路延伸により地域経済の好循環が加速

○四国横断自動車道はH27年3月に鳴門JCT～徳島ICが開通

現在、徳島JCT以南の事業を推進中

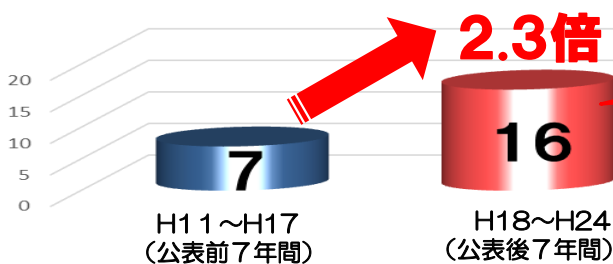
○鳴門JCT～徳島・徳島東ICの開通見通の公表後

「工場立地件数」が2.3倍に増加し臨海部の企業立地を促進

○津田ICの連結許可(H27.7)を契機に、

新たな「陸・海・空の結節点」としての計画を具体化

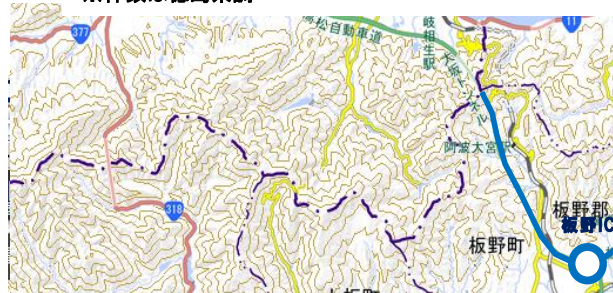
■開通見通し前後の工場立地件数の伸び



更なる企業進出による
地域経済の好循環を期待

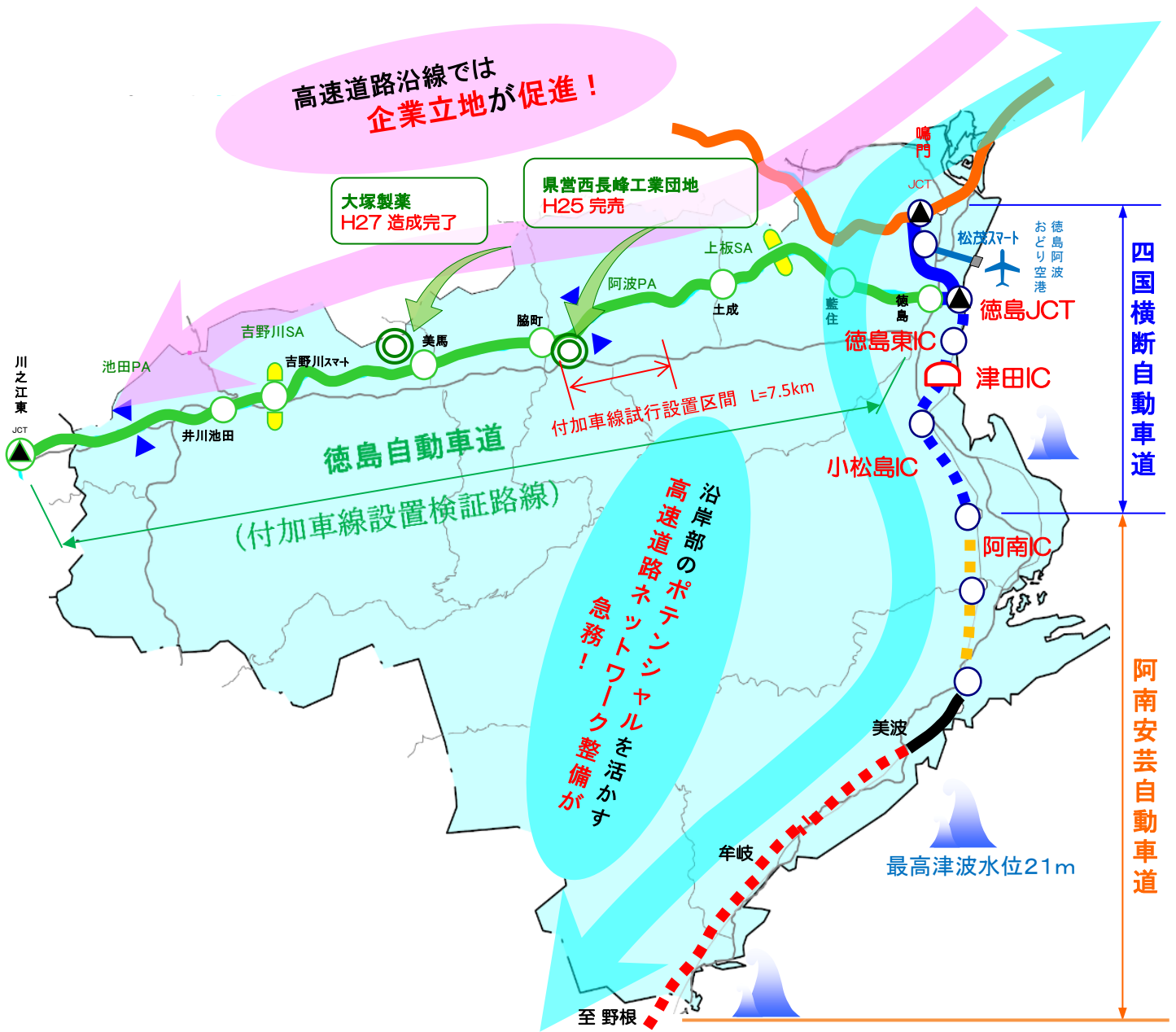
H18.3開通見通し公表

※対象エリアは徳島市、鳴門市、松茂町
※件数は徳島県調べ



※上記地図は、国土地理院ホームページ (<http://maps.gsi.go.jp>) をもとに作成。

高速道路整備によるストック効果の発現



『徳島環状道路』の早期整備で中心部の渋滞緩和！ 地域生産性の向上による『地方創生』実現を！！

路線名	番号	観測地点 地名	平日24時間交通量(台/日)
一般国道55号	①	徳島市大松町上の口	44,523
	②	徳島市八万町沖須賀	58,962
一般国道11号	③	徳島市川内町鈴江北	57,493
	④	徳島市東吉野町1丁目	70,906
	⑤	徳島市徳島本町1丁目	60,247
一般国道192号	⑥	徳島市国府町観音寺	20,505
	⑦	徳島市庄町	28,928
	⑧	徳島市南出来島町	32,347

※H27年度 交通センサスより



**徳島市中心部
渋滞状況**
一般国道11号
徳島市中洲町付近

**徳島東環状線
川内工区
(H24.4月 供用)**



**徳島東環状線
阿波しらさぎ大橋
(H24.4月 供用)**



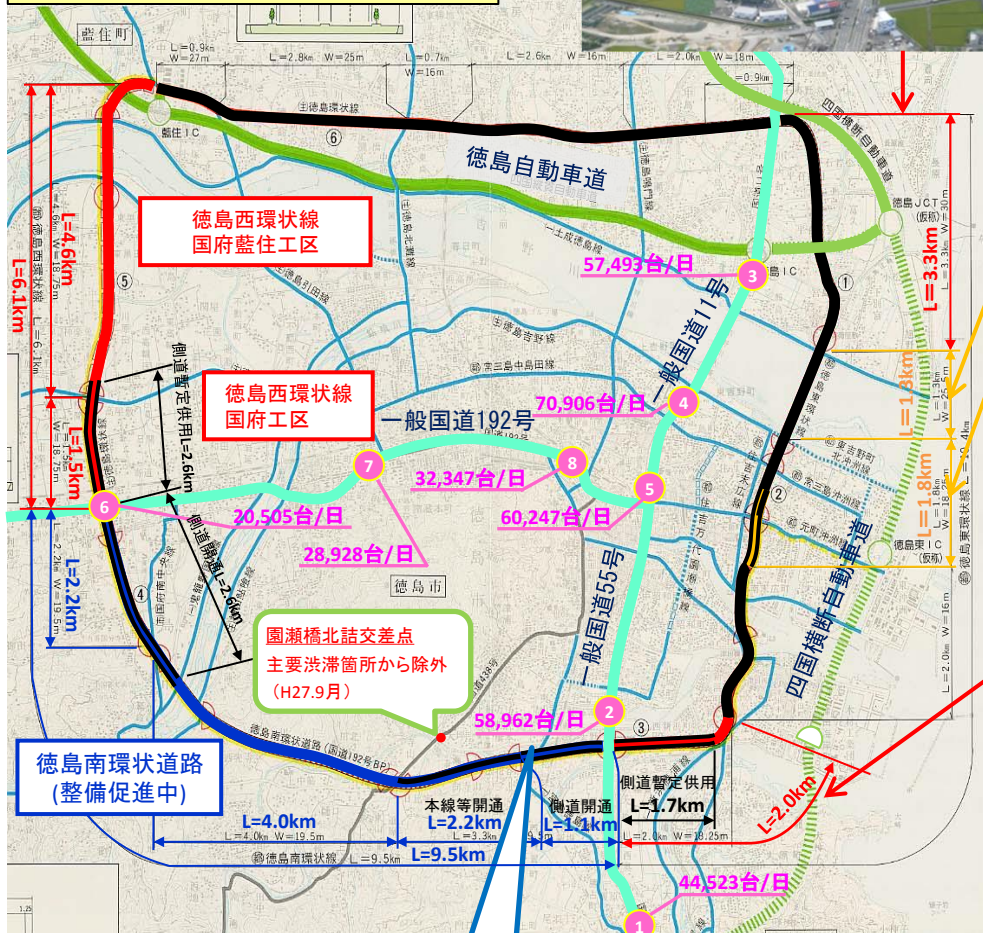
**徳島東環状線
末広住吉工区
(整備推進中)**



**徳島東環状線
新浜八万工区
(整備推進中)**



徳島環状道路 約35km



— 国土交通省
— 徳島県(道路事業)
— 徳島県(街路事業)
— 供用中



徳島小松島港沖洲（外）地区 複合一貫輸送ターミナル整備事業の促進について

< 主管省庁局 国土交通省 港湾局 >

【要望の趣旨】

海上輸送機能の効率化を図るため、徳島小松島港沖洲（外）地区複合一貫輸送ターミナル整備事業の促進について、要望するもの。

◆現況・課題等

現況

- 徳島小松島港は多くの企業が集まる物流の一大拠点となっている。
- 平成27年3月に大型フェリー対応の耐震強化岸壁供用。
- 岸壁利用者が、新造フェリー4隻を投入。ターミナルビルを沖洲(外)地区へ移転し、本格的な利用を開始。
- 平成31年度中に徳島東インターチェンジが供用予定。
- トラック、シャーシ台数は増加しており、今後も増加が予測され、地域経済に貢献。

課題

- 防波堤延伸が未完了のため、港内静穏度が十分に確保されておらず、フェリー輸送の信頼性が確保されていない。
- 岸壁への接岸時にタグボートの使用を強いられるなど影響が出ている。



徳島小松島港沖洲（外）地区
複合一貫輸送ターミナル

地域経済を支える当該ターミナルの更なる利用の
促進・効率化のためには、港内静穏度の確保が必要である

◆具体的要望内容

「徳島小松島港沖洲（外）地区複合一貫輸送ターミナル整備事業」の早期完成に向け、現在、国において進めている静穏度確保のための防波堤の整備促進について、特段のご配慮をお願いいたします。

徳島市担当部課 都市整備部 まちづくり推進課

複合一貫輸送ターミナル



平成26年度耐震強化岸壁完成
13,000総トン級の大型フェリーが着岸可能

現在整備中
防波堤150m延伸予定



Tokushima City